

ぐんまの 農業研究と普及活動

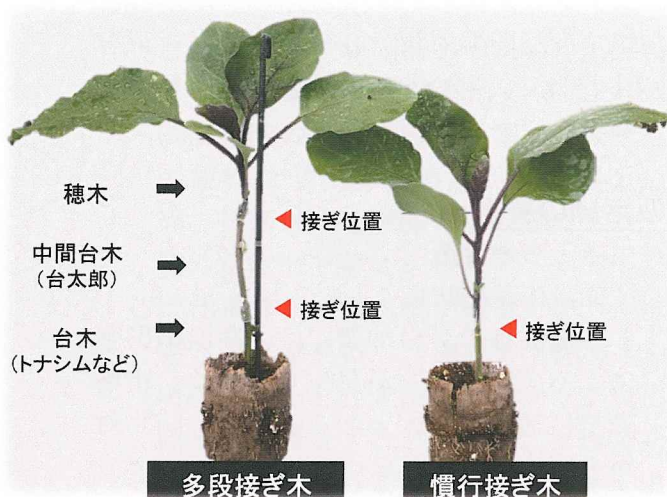
第 31 号

平成 28 年 7 月

発行 群馬県農政部

(前橋市大手町一丁目 1 番 1 号)

多段接ぎ木でナス青枯病の発生を抑制する



(下写真提供：ベルグアース株式会社、一部改変)

ナスの栽培では、青枯病や半身萎凋病などの土壌病害が問題になっています。そこで、両病害に抵抗性のある台木を組み合わせて接いだ「多段接ぎ木苗」の青枯病抑制効果を確認しました。

多段接ぎ木苗を用いることで、青枯病の発生を遅らせ、その間の可販収量を確保することができます。今までの接ぎ木苗より効果が高い青枯病の対策として有望です。また、両病害が発生しているほ場での対策としても期待されます。

目 次

- トピック【新技術等の迅速な現地普及】
ウメ産地再生プロジェクトの取り組みについて …… 1
- 研究成果等の情報
【県の試験研究機関で開発した最新の技術情報】
 - ・多段接ぎ木ナスの青枯病発病抑制効果 …… 3
 - ・県育成ヤマトイモ新品種「ぐんまとろりん」の効率的な種イモ増殖法 …… 4
 - ・スモジョイント栽培における機械化作業体系の省力・軽労効果 …… 5
 - ・新規養蚕参入に対する支援活動 …… 6
 - ・アユ冷水病の伝播経路の解明 …… 7
 - ・温暖化と獣害軽減に対応した新たな飼料作物生産体系… 8
 - ・新たな上州地鶏の能力と特徴… 9

- 普及活動の実績
【各地域における課題解決の取り組み】
 - ・天敵を利用したイチゴの健苗生産 …… 10
 - ・ちぢみホウレンソウの生産安定 …… 11
 - ・神流町の農業振興 …… 12
 - ・若手女性農業者の育成 …… 13
 - ・邑楽館林施設園芸等担い手受入協議会の設立… 14
- インフォメーション
 - ・農業適正使用のポイント …… 15